



町内各地で稲刈り体験

10月19日、滝尾小学校（河地浩太郎校長・59人）5年生11人が村上新次さん（滝尾）の田んぼで、また同日に、若葉保育園（津田庸子園長・149人）年長児35人が福島則義さん（木倉）の田んぼで稲刈りを体験しました。さらに23日、御船小学校（中野浩幸校長・359人）5年生54人が里山敏治さんの田んぼでJAかみましき青壮年御船支部（宮本力将部長）による稲刈り体験を行いました。子どもたちは、稲の刈り方を教わりながら、一生懸命稲を刈りました。稲刈りを指導した人たちは「お米は田植えや稲刈りなどのさまざまな苦勞があってできるもの。この体験を通してお米の大切さを学んでくれたら」と口を揃えて話しました。

1.2_稲刈りを楽しむ滝尾小学校の児童たち 3.4_稲刈りを楽しむ御船小学校の児童たち 5_指導する村上さん 6_指導するJAかみましき青壮年御船支部の宮本部長たち 7_稲刈りを楽しむ若葉保育園の園児 8_指導する福島さん

七滝ここにあり！～七滝公民館祭り

10月21日、第11回七滝公民館祭りが開催されました。午前の部は、七滝スポーツ大会が行われ、グラウンドではスローピッチソフトボール大会、体育館ではニュースポーツ大会で勝利を目指し、参加者はたくさんの汗を流しました。午後の演芸会では、七滝老人クラブによるカラオケやひょっとこ踊り、七滝婦人会のNBK17（七滝美人クラブ会員17人）による「カモン！ベイビー！七滝！」などの踊りで会場を盛り上げました。山下敏視七滝公民館長は「地域の強い支えで今年も開催できた。この祭りで“七滝ここにあり”という震災にも負けない強い七滝を見せたい」と話しました。



1_「カモン！ベイビー！七滝！」を踊った七滝婦人会のNBK17 2.4_熱戦！スローピッチソフトボール大会 3_JA女性部による踊り「風に立つ」 5_美しいハーモニカ吹奏 6_七滝老人クラブのひょっとこ踊り 7_七滝中央小学校の児童の力強い「能寛太鼓」



お姉さんたちと楽しくバレーボール！

フネッピーでキッズバレー教室

10月14日、フネッピーすこやかスポーツクラブ（竹内昭剛会長）でキッズバレーボール教室が開催されました。県バレーボール協会からは、必由館高校の女子バレーボール部の監督も兼任している山田慎郎指導普及委員長が派遣。ボランティアで参加した必由館高校の女子バレーボール部員たちから、正しいフォームでのパスなどを分かりやすく教わりました。参加した子どもたちは、「楽しかったー！」と声を揃えていました。第2回キッズバレー教室は、11月18日回に開催予定です。

七ヶ浜町と災害協定～トライアングル協定

10月18日、宮城県七ヶ浜町（寺澤薫町長）と御船町の災害時相互応援に関する協定締結式が行われました。これは、物資の提供や人的支援などの相互応援体制の構築を図るもので、両町とも遠距離で同時に被災することは考えにくい点から協定に至りました。七ヶ浜町は、今年5月に本町と同協定を結んだ愛知県瀬戸市とも災害協定を結んでおり、3市町のトライアングル協定としても確立しています。藤木町長は「災害への対応を強化するために、このトライアングル協定が全国に広がってほしい」と話しました。



協定を交わし、力強く握手する寺澤町長（左）と藤木町長（右）



水前寺菜を使ったメニューを開発し、振る舞う生徒たち

水前寺菜で御船町のお土産を！

御船高校の家庭クラブの生徒たちが御船町特産品～御船のいさぎ～に認定されている“水前寺菜”を使った新しいお土産をつくろうと研究しています。10月18日、町内の生産農家や飲食関係者を招いた試食会を行いました。作られた恐竜の形をしたクッキーやいきなり団子などには、オールみふね恐竜の郷復興プロジェクトが提供した水前寺菜の出荷段階で廃棄する部分を粉末にしたものを使用しています。家庭クラブの工藤真心さん（1年）は「今日出た意見をもとに改良し、御船町のお土産にできれば」と笑顔で話しました。

560年の歴史～熊野座神社創建祭

10月19日、熊野座神社（田代）で創建560年式年祭が行われました。熊野座神社の創建は、室町時代（1458年・長禄2年）。大祭の神事が執り行われたあと、地域で集まり会食。会食中は、バナナの叩き売りやカラオケ大会などで会場は賑やかになりました。午後からは、七滝中央小の児童による奉納相撲が十数年ぶりに行われ、元気はつらつとした相撲をしました。宮総代の杉村周一さんは「地域の支えがあって開催できた。今後も地域のつながりを大切にし、交流を続けていきたい」と話しました。



1_熊野座神社に集まる地域の人たち 2_自然に囲まれながら気持ちよくカラオケ！ 3_七滝中央小学校の児童による奉納相撲